

autocult

Mercedes-Benz SSK Gläser (ドイツ, 1931)

デザイナーと小さなシリーズ

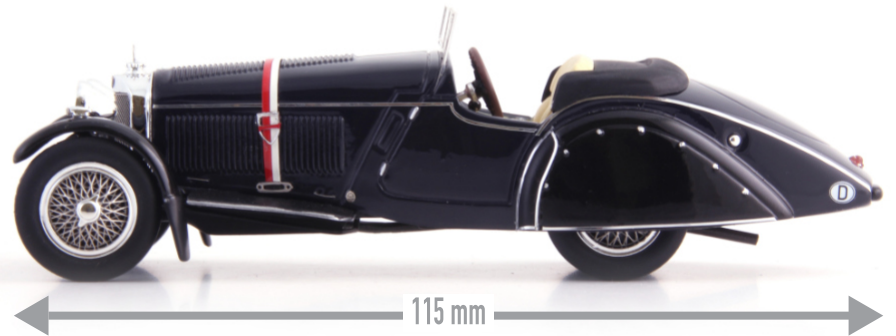
Scale 1/43

#05048

available

10/2023

Limited edition 333 Stk.



高貴なベンツを操る貴公子

1930年代の初頭、フォン・リュットヴィッツ男爵は、高貴でありながら、非常にスポーティで速いオープンカーを買おうとしていた。お金には糸目をつけなかったようで、彼は当時最もパワフルなメルセデス・ベンツ、わずか33台しか生産されなかったSSKモデルを選んだ。SSKは「Supersport kurz」（スーパースポーツ・ショート）の略だった。

彼はまた、ユニークなボディを望んだ。コンバーチブル・ボディの評判が高かったため、メルセデスのシャーシはドレスデンの「グレーザー」社に引き渡された。

ドレスデンの職人たちは、実績のあるボンネットとフロントセクションのデザインに大きく手を加えることはなかったようだ。その結果、メルセデスの印象的な外観は維持された。しかしそれはリアセクションにはまったく当てはまらなかった。リアセクションには

光学的に滑らかな表面を持つ、幅が微妙に細くなる長くすらりとしたデザインが施された。

シームレスに見える埋め込み式スペアホイールのカバーがあるため、おそらくトランクスペースは大幅に縮小された。折りたたみ式ルーフの収納もリアセクションに組み込まれた。スポーティさとエアロダイナミクスを強調するために、リヤ・ホイールアーチは完全に覆われた形になっていた。

最新の情報によると、このメルセデス・ベンツは現在は残っていないようである。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de